

▼乙女小運動場で人権の花の種を付けた風船を飛ばす児童たち



花を育てて人権を考える

乙女小で人権の花運動集会

11月26日(木)乙女小学校(内田純二校長145人)で、人権の花運動集会が開催されました。

同運動は、子どもたちがお互いに協力して花を栽培することによって、命の大切さや相手への思いやりなど基本的人権を尊重する精神を身に付けることを目的に実施。熊本地方法務局御船支局(坂川きみ子局長)、御船人権擁護委員協議会(上妻毅会長)が、4月27日(月)に同小で開催された同運動伝達式で花の種とプランターを贈呈し、児童たちが大切に育てました。

同集会では、内田校長が「半年間、花のお世話をした心配りが人権の心につながります」とあいさつ。上妻会長が「育てていた、大切にありがとう。命の大切さを学ばれたことと思いません」とお礼を述べました。

また、同協議会から児童に感謝状と記念品が贈呈され、各学年の代表児童が同運動に関する感想などを発表しました。

集会終了後に、参加者全員で、実った種を入れた手紙を付けた無公害紙風船を飛ばしました。

手作り看板コンクールで2位

本田奈菜子さん(白旗小4年・古閑区)

11月14日(土)・15日(日)県農業公園(合志市)で開催された平成21年度手作り看板コンクールで、白旗小4年の本田奈菜子さん(古閑区)が制作した看板が2位に入賞しました。

同コンクールは、農業のある地域づくりの大切さをアピールすることを目的に、熊本県農協青壮年部協議会などが主催。本田さんは、親子で看板を制作して出展。看板の制作テーマについて、「おじいちゃん、おばあちゃんが生懸命農業をしているので、農作物に対してありがとうの気持ちを看板に描きました。看板を見て、食べ物への感謝の気持ちを持ってもらいたいです」と話しました。

入賞した作品は、今冬に開催される全国コンクールに出展されます。



▶手作り看板コンクールで2位に入賞した本田さんの作品

自主的な防犯活動に対し表彰

乙女校区防犯パトロール隊

10月14日(水)熊本市で、平成21年度くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民会議が開催され、乙女校区防犯パトロール隊が功労団体として表彰されました。

同会議は、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進を目的に活動し、県、県警などで構成。同隊(安達満雄代表)は、平成18年に乙女校区の甲佐町地域

福祉推進員11人で発足。下校時の児童の見守り活動など地域の安全を守る活動が評価され、今回の受賞となりました。

現在は、平成20年ごろから老人クラブなど地域全体に防犯活動への参加を呼び掛けた結果、地域に根ざした活動の輪が広がったことから、現在、同隊は発展的に解消し、地域や団体などが引き継いで活動しています。



▶表彰された乙女校区パトロール隊で代表を務めた安達さん

竜野川河川公園に桜を植樹

平成21年度上益城地域植樹祭

11月29日(日) 竜野川河川公園で、平成21年度上益城地域植樹祭が開催されました。

同植樹祭は、森林や樹木に対する理解を深め、緑化意識の高揚を図ることを目的に、上益城地域みどり推進協議会(山本幸会長)と町の共催。山本協議会長、奥名克美町長、郡内の各町長、竜野地区環境施設管理組合(北川國昭組合長)、龍野小学

校(清田設郎校長82人)の5・6年生、上益城地域のみどりの少年団など約150人が参加し、同公園にソメイヨシノ30本を植樹しました。

植樹祭の後には、龍野小児童とみどりの少年団などによる交流会も開催。児童らが、竹炭づくりや竹を使ったパウムクーヘンづくりなど野外調理に挑戦しました。



公園にソメイヨシノを植樹する竜野地区の区長の皆さん

▲町生涯学習センターに展示された民具や工芸品など



甲佐町活性化大会を開催

NPO法人ミテ・ミライ

11月21日(土)・22日(日) 町生涯学習センターで、甲佐町活性化大会が開催されました。

同大会は、本町住民のエネルギーを集結して、活力あふれる地域の創造を目指すことを目的に、NPO法人ミテ・ミライ(小屋迫誠理事長)が主催。同センター・ギャラリーモールでは、本町の伝統工芸の伝承を目的に、「わが家の匠の技」

と題して、竹炭やわら細工などの民具やガラス細工、竹細工などを展示。また、伝統芸能の活性化を図るため、「甲佐町の太鼓あつまれ」と題して町内の太鼓を一堂に集めて展示しました。

22日(日)には同センター・ホールで、明石照久さん(県立大学教授)を講師に招き、「まちづくりは人間力」と題して講演会を開催しました。

12月1日(火) 町生涯学習センター・ホールで、甲佐町男女共同参画推進事業講演会が開催されました。

男女共同参画推進に関する取り組みの一環として、町、町教育委員会が主催。マルゴ・キャリアントンさん(在福岡アメリカ領事館首席領事)が講師として、「夢の実現とワークライフバランス」と題し講演。約150人が参加しました。

キャリアントンさんは、外交官の家庭で育ち、9か国での生活を経験。大学院を卒業後、大手

企業勤務を経て国務省に入省し、東京アメリカン・センター副館長などを歴任して現職で活躍。夫、長男、長女の4人家族で、仕事と家庭を両立されています。

講演では、アメリカ社会での男女共同に関する認識や文化について説明。「男女は、仕事でも家庭でも同等であるべき。女性の労働力に着目して社会を構築することが、今後は更に重要。夫婦間でお互いの夢の実現について理解と協力をもって、バランスを取り合うことが大切」と話しました。

男女共同による社会と家庭を

甲佐町男女共同参画推進事業講演会



▲アメリカで実践されている男女共同参画に関する取り組みなどについて講演するキャリアントンさん

▼人権週間町民集会で人権作文を発表する町内児童・生徒たち



人権意識の高揚を図る

平成21年度甲佐町人権週間

12月5日(土)から11日(金)にかけて、平成21年度甲佐町人権週間における人権啓発を呼び掛ける各種イベントや行事が開催されました。

同週間は、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決や、人権意識の普及と高揚を目的に、同実行委員会(上妻毅委員長)が主催。

第1日は、町生涯学習センター・ホールで、甲佐町人権週間町民集會を開催。県立甲佐高等学校生徒の体験活動発表や町内児童・生徒による人権作文発表、人権擁護委員による男女共同参画についての寸劇、人権啓発ビデオの上映などが行われ、約140人が参加。最後に、同集會決議を全会一致で採択し、代表して吉川英徳さん(有安区)が決議を宣言しました。

また期間中は、町老人憩いの家での特設人権(心配事)相談の開催や、街頭での広報啓発活動、町内企業などを訪問しての人権啓発の呼び掛け、同センター・ギャラリーモールなどでの書道など人権作品の展示なども行われました。

県警音楽隊が生演奏を披露

あゆの里学園で訪問コンサートを開催

12月3日(木)津志田の知的障害者授産施設あゆの里学園(岩野慶一施設長46人)で、県警音楽隊によるコンサートが開催されました。

同隊(宮崎正道隊長33人)は、県警勤務の警察官で構成される音楽隊。イベントや施設などを訪れる演奏活動を通して、地域への警察活動の広報や交通安全・防犯に関する啓発に取り組

んでいます。

コンサートでは、クリスマスキャロルやアニメのテーマ、ジャズの名曲や時代劇音楽メドレーなど、さまざまなジャンルの曲を披露。学園生らは、リズムに合わせて手拍子をするなどして、演奏を満喫しました。

最後に、学園生が「今日は、楽しい演奏をありがとうございました。」とお礼を述べました。



▶あゆの里学園を訪問し、生演奏を披露する県警音楽隊

安心・安全な甲佐町の実現を

甲佐町・御船警察署第2回連絡会議

12月17日(木)町生涯学習センター・ホールで、「安全・安心な甲佐町の実現に向けた甲佐町・御船警察署第2回連絡会議」が開催されました。

今回は、犯罪や交通事故の発生状況について協議。また、行政や団体、地域など社会全体で連携して、高齢者の安心・安全を守るための連携を図る「高齢者サポートネットワーク」の構築について話し合いました。

町が取り組んでいる「安全で安心な町づくり」を効果的に推進するために、平成20年7月に御船警察署と協定を結んで設置。町と御船署が、防犯や交通安全、防災および災害



▶町生涯学習センターで開催された甲佐町・御船署第2回連絡会議

甲佐10マイルクイズ当選者決定

特賞・マウンテンバイクは山下典之さん（世持区）

12月6日（日）に開催された第34回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会で行われた「甲佐10マイルクイズ」の抽選が行われ、特賞以下各賞の95人が決定しました。

今回の問題は、「第1回大会は19□□年に開催された？」で、正解は「76年」。826人が応募し、正解は806人。正解者の中から抽選で特賞（1人）、甲佐10マイル賞（31人）、甲佐ふるさと賞（62人）、協賛で賞（1人）が当選しました。特賞には、山下典之さん（世持区）が当選。12月20日（日）町生涯学習センターで、奥名克美大会会長から賞品のマウンテンバイクが贈呈されました。そのほかの当選者については、賞品の発送をもって、発表に代えさせていただきます。



▶特賞のマウンテンバイクを贈呈された山下さん（写真左）

本町の未来について意見を出し合う

まちづくりワークショップ

12月17日（木）町生涯学習センター・ホールで、まちづくりワークショップ（第2回）が開催されました。

第6次町総合計画の策定にあたり、町民と行政が一体となって住みよいまちづくりについて協議するために、町が主催。同計画は、平成23年度からの10年間のまちづくりの基本となり、計画に基づき施策を進めます。

ワークショップの参加者は、まちづくりに関心がある町民を対象に募集し、45人が参加。「まちづくり」、「産業経済」、「医療・福祉」、「教育・文化」

の4グループに分かれて意見を出し合い、協議を重ねています。11月から1月までに3回開催し、取りまとめた意見などは奥名克美町長に報告され、第6次計画の策定作業に反映されます。



▲本町のまちづくりの課題と今後の解決方法などについて協議

歴史を学び芸術に触れる

親子で楽しむ芸術体験コンサートを開催



▲文化財学習会では、現在、平成20年度から発掘調査を実施している陣ノ内館跡（豊内）の発掘現場を現地見学

12月19日（土）町生涯学習センターほかで、「文化財のしらべ」親子で楽しむ芸術体験コンサート」と題して、本町の文化財についての学習会と童謡コンサートが開催されました。

同センター自主文化事業として、町教育委員会などが主催。文化財についての学習とコンサート鑑賞で、歴史や文化、芸術を一度に学び楽しむことを目的に企画。延べ約150人が参加しました。

文化財学習会は、町文化財保護委員の清村一男さんを講師に迎えて開催。最初に、同センターに展示された写真パネルで、町内の史跡や文化財などについて説明。続いて、中世の史跡・陣ノ内館跡（豊内）を見学。発掘調査現場などで説明があり、史跡について学習しました。

続いて同センター・ホールで開催されたクリスマス童謡コンサートには、テレビなどで活躍する童謡デュオ「DOYO組」が出演。訪れた観客の手拍子に合わせて、懐かしい童謡やクリスマスソングなどを美しいハーモニイで披露しました。